

< 報道関係各位 >

2009年8月
大塚国際美術館

熱い要望にお応えして、今年も実施します

10月8日「陶板名画の日」記念イベント「あなたの想い、陶板で永久に残します」

永久に残したい絵画や写真 全国より募集

～ かけがえのない絵画や写真を特殊技術で陶板化～

応募締切 / 9月18日(金) 当日必着

世界初の陶板名画美術館「大塚国際美術館」(徳島県鳴門市)は、10月8日「陶板名画の日」に向けて、かけがえのない絵画や写真を永久に残す記念イベント「あなたの想い、陶板で永久に残します」を今年も実施いたします。つきましては、陶板化を希望する方々を全国より募集します。

ご希望の方は、絵画や写真の種類、サイズと「永久に残したい理由」を明記の上ご応募ください。なお、陶板技術を使えば、絵画や写真が色褪せることなく2千年以上残すことが可能になります。

「モナ・リザ」「最後の晚餐」「ゲルニカ」・・・世界の名画を、そのままの姿で永久に残すことができれば・・・陶板化技術と「陶板名画」は、このような世界の人々の切なる願いから生まれたものです。

「大塚国際美術館」は、そんな願いを具現化するために誕生した世界初の陶板名画美術館で、日本最大級の常設展示スペースを誇る館内には現在、世界の名画1000余点が、原寸大かつ寸分違わぬ姿で陶板に再現され、一堂に展示されています。

そんな中、2005年、10月8日が「陶板名画の日」として認定されました。そこで「大塚国際美術館」では、個人の制作した絵画や写真を大塚オーミ陶業株式会社の特殊技術で陶板化し提供する、「あなたの想い、陶板で永久に残します」を実施し、第4回目となった昨年は、3名の方々の“想い”を実現することができました。

阪神淡路大震災で亡くなった息子が、母親に宛てて書いた一枚の手紙(60代女性) 自閉症でありながら、明るくやさしい性格が表された鳩の絵(10代女性) デュシェンヌ型筋ジストロフィーの子どもたちとの、ある日の風景の大切な記憶(50代男性) など、昨年の陶板化応募にはいずれも、かけがえのない想いが込められています。そしてメディアに大きく取りあげられ、多くの感動を呼びました。特に“親愛なる母上様”で始まる手紙は歌になり、各地でコンサートが開かれています。大きな反響をいただく中、陶板化された手紙は被災地の西宮市に寄贈され、2009年7月17日から同市北口町の市大学交流センターで常設展示が開始されました。

そこで今年も、かけがえのない絵画や写真を永久に残したいと願う人々5名様様の夢を叶えます。これを機に、あなたの熱い想いを実現してください。

多くの皆様のご応募をお待ちしております。概要は、以下のとおりです。

募集概要

名称 10月8日「陶板名画の日」記念イベント「あなたの想い、陶板で永久に残します」

内容 「陶板名画」の意義を広めることを目的に、「陶板名画の日」10月8日に限り、名画の永久保存を目的に使用されてきた陶板技術で、個人の製作した絵画や写真を陶板化します。

陶板化数 5作品

1作品あたりの陶板化制作費用は30～50万円。当イベントの主旨に添う方に無償で制作いたします。(制作する陶板寸法はA4判相当)

応募方法 官製ハガキまたはインターネットにて、以下の項目を明記の上、お申し込みください。

〒住所、氏名、年齢、電話番号

陶板化したい絵画や写真の種類、サイズ、これまでの保存年数

永久に残したい理由

ご応募いただいた個人情報は、当選者へのご連絡のためのみ使用させていただきます。当選された方にのみご連絡させていただきます。

アマチュアに限ります。

応募先 **官製ハガキの場合**

〒772-0053 徳島県鳴門市鳴門町土佐泊浦字福池 65 - 1

大塚国際美術館「陶板名画の日」係

インターネットの場合

以下ホームページの中に申込フォームがあります。所定欄に必要事項を記入ください。

URL <http://www.o-museum.or.jp/>

応募締切 2009年9月18日(金) 必着

書類審査の上、陶板化の条件を満たした5名様に内定した旨をご連絡します。

大切な写真や絵画をお預かりするため、下記日程に大塚国際美術館へ現物を持参していただくことで、正式な当選といたします。

当選受付 2009年10月8日(木)「陶板名画の日」14時

「陶板名画の日」10月8日(とうばん)

2005年7月、日本記念日協会により、10月8日が「陶板名画の日」に正式認定されました。大塚国際美術館を中心に、世界各国の美術館や美術界の専門家が推進する「世界の名画を永久に残す」という世界初の文化プロジェクトに対する理解を促し、「陶板名画」の意義を広く啓発することが記念日制定の目的です。

参考：2008年度 第4回「あなたの想い、永久に残します」実施結果

募集時期 2008年8月～9月

募集総数 全国より30名（応募要件を満たした数）

陶板化数 3名様（陶板化の諸条件を満たした方）

以下に概要と、本人の応募コメントをそのままの言葉で抜粋します。

阪神淡路大震災で亡くなった息子が、母親に宛てて書いた一枚の手紙

（広島県 / 女性 / 60才）

1995年1月17日に発生した阪神淡路大震災で、当時、神戸大学法学部2年生（21歳）だった一人息子を亡くしました。息子（貴光）が大学に入学する時、母親の私に宛てて書いてくれた一枚の手紙があります。震災報道の中で、この手紙を紹介しましたところ、全国紙に掲載され大きな反響を呼びました。あれから13年経った今年、一人の青年音楽家により、この手紙が歌になりました。各地でコンサート依頼があり、活動しております。この度、日本テレビの全国放送で紹介していただくことになり、収録中です。10月14日（火）21時から放送がありますので、ご視聴いただければ幸いです。

私が息子からこの手紙を貰って15年経過しました。ノートの1ページにボールペンで書いてあるため、紙は変色が始まり、乾燥し劣化の一途を辿りつつあります。この手紙の歌が現代を生きる方々に温もりや優しさを伝え、また、皆さま方から今の中だからこそ求められているということをお聞きするにつけ、私もじわじわと、それを実感しております。

手紙は『親愛なる母上様』で始まり『あなたを母にしてくださいとくださった神様に感謝の意をこめて』で、結ばれております。この手紙は今や私だけのものにとどまらず、普遍性を有しているものとして、歌い繋がれていくことを願ってやみません。その大切な原本を陶板化していただければ、この上ない喜びでございます。

自閉症でありながら、明るくやさしい性格が表された鳩の絵

（岡山県 / 女性 / 18才）

自閉症でありながら、明るくやさしい性格が絵に表れています。そんな彼女の生命力溢れる作品を残してあげたいと思い応募しました。（余談ですが、2年前に大塚国際美術館の聖テオドール聖堂で15人の天使達と出会っています・写真もあります・光ですが・・・そんな事もあり、毎年夏休みには美術館を訪れています。）

デュシェンヌ型筋ジストロフィーのこどもたちとの、ある日の風景の大切な記憶

（徳島県 / 男性 / 58才）

デュシェンヌ型筋ジストロフィー遺伝子治療の治験が始まるうとしています。約40年前、それまで診断がついた段階で終了、見放されていたこどもたちを、国立療養所がその医療を担当することになりました。徳島病院でも、以後何人もこどもたちが、完治の日の来ることを一日千秋の思いで待ち望んで入院してきました。残念ながら、のぞみがかなうことはありませんでした。しかし、人工呼吸の導入により、その寿命はかつてにくらべ10年近く延ばすことができるようになりました。人工呼吸をしていても、生活の制限をできるだけしないということを、徳島病院小児科の方針です。小児科病棟では、2008年4月某日、おりからの陽気に誘われ花見に行こうということになりました。そして、桜の木下で集合、記念撮影。このこどもたちの主治医として15年、ある日の風景をたいせつな記憶として残しておきたいと思いました。このこどもたちと人工呼吸器なしの花見ができる日が一日も早くおとずれることを願ってやみません。

大塚国際美術館とは

渦潮を臨み緑豊かな鳴門公園に位置する「大塚国際美術館」。古代壁画から世界 25 ヶ国 190 余の美術館が所蔵する現代絵画まで、1,000 点を超える世界の名画を特殊技術によって、原寸大の陶板で忠実に複製しています。約 4 km に及ぶ鑑賞ルートには、古代遺跡や礼拝堂を現地の空間そのままに再現した立体展示のほか、レオナルド・ダ・ヴィンチ「最後の晚餐」、ゴッホ「ヒマワリ」、ピカソ「ゲルニカ」など、美術書などで一度は見たことがあるような名画を美術史の流れに沿って展示しています。なかでも、ミケランジェロが描いた天井画と正面祭壇画「最後の審判」とともに立体再現した「システーナ・ホール」の迫力は必見です。

大塚国際美術館

住所：徳島県鳴門市鳴門町 鳴門公園内

TEL：088-687-3737

FAX：088-687-1117

<http://www.o-museum.or.jp/>

開館時間：9 時 30 分から 17 時まで

(入館券の販売は 16 時まで)

休館日：月曜日(祝日の場合は翌日)

正月明けに連続休館あり / 7・8 月無休

入館料：小・中・高生 520 円

大 学 生 2,100 円

一 般 3,150 円

* 20 名以上の団体は 10%割引

アクセス

- ・鳴門北 I C から車で約 3 分
専用駐車場より無料シャトルバス運行
- ・高速バスにて(高速鳴門まで)
JR 大阪駅より約 2 時間 10 分 / JR 新神戸より約 1 時間 30 分
- ・路線バス「鳴門公園行」にて「大塚国際美術館前」下車
JR 徳島駅より約 55 分、JR 鳴門駅より約 20 分、
「高速鳴門バス停前」より約 15 分、「徳島空港口」バス停より約 25 分



環境展示：「システーナ・ホール」



《本件に関するお問い合わせ先》

大塚国際美術館 企画・広報部 坂本明子

TEL：088-687-3737 FAX：088-687-1117

e-mail：museum@otsukakj.co.jp

作品画像は大塚国際美術館の展示作品を撮影したものです